

学期	月	時数	単元名 教材名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 (評価方法)	
					知	思	態		
1 学期	4 月	1	見えないだけ	・作品のイメージを広げて朗読する。	○			・詩の特徴を生かして朗読している。(朗読)	
		1 広がる学びへ							
		4	アイストラネット	・登場人物の設定に注意し、人物関係や考え方を捉える。	○		○ 読	・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。(ノート、テスト) ・「ぐうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物関係図にまとめている。(ノート)	
		1	[聞く]問いを立てながら聞く	・意見と根拠を整理し、疑問におもうことや確認したいことを考えながら聞く。	○		○ 話聞	・提案内容を理解し、その内容を的確にメモしている。(ワークシート、テスト) ・進んで論理の展開などに注意して聞き、疑問点や確認したい点を考えようとしている。(ワークシート)	
		4	枕草子	・作者のものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べる。	○		○ 読	・現代語訳や語注を手掛かりに、「枕草子」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えている。(ノート、テスト) ・作者の考えと自分の考えを比較し、感じたことをまとめている。(ノート) ・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書いている。(下書き原稿)	
		1	情報整理のレッスン 思考の視覚化	・情報のさまざまな表し方を理解し、視覚的に整理する。	○			・問題1～3に取り組み、情報どうしの関係を図で表している。(ワークシート)	
		5	多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	・さまざまな方法で情報を集め、伝えたいことをまとめる。	○		○ 書	・集めた情報を表や図にまとめ、整理している。(ノート) ・調べてみたい職業を決め、知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。(ワークシート) ・粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、職業ガイドを作ろうとしている。(振り返りシート)	
		1	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1	・熟語の意味を考え、その構成を理解する。	○			・熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)	
		2. 多様な視点から							
		4	クマゼミ増加の原因を探る	・部分と全体、文章と図表の関係に注意して、構成や展開を理解する。	○		○ 読	・筆者の主張を捉え、それと仮説1～3との関係を理解している。(ワークシート、テスト) ・文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。(話し合い、ノート)	
1	思考のレッスン1 具体と抽象	・具体と抽象の観点を意識しながら、考えを伝え合う方法を知る。	○			・問題1, 2に取り組み、複数の情報をまとめて抽象化したり、言葉の意味を具体例を挙げて説明したりしている。(ノート、発表)			
5	魅力的な提案をしよう 資料を提示してプレゼンテーションをする	・相手が何を知りたいのかを考えて情報を集め、資料や機器などを活用して印象に残る提案をする。	○		○ 話聞	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(評価シート) ・資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(発表) ・粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションしようとしている。(観察、振り返りシート)			

6月	1	漢字に親しもう2	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○		・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)
	3	文法への扉1 単語をどう分ける?	・いろいろな自立語の働きや性質を理解し、正しい品詞に分類できるようにする。	○		・自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文の中で果たす役割について理解を深めている。(テスト)
情報社会を生きる						
	3	メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 「自分で考える時間」をもとう	・メディアの特徴を理解し、目的や状況に応じてメディアを選ぶ。	○	○ 読	・情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。(ワークシート) ・同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。(ノート)
3 言葉と向き合う						
7月	4	短歌に親しむ 短歌を味わう [書く]短歌を作ろう	・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作する。	○	○ 書	・情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。(ノート、テスト) ・自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。(作品) ・進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作している。(下書き)
	2	言葉の力	・言葉への筆者の考えを読み取り、それに対する自分の考えを伝える。	○	○ 読	・言葉に対する筆者の考え方について、自分の考えをもち、話し合っている。(ノート、発言)
	2	言葉1 類義語・対義語・多義語	・類義語・対義語・多義語について理解し、言葉の幅を広げる。	○		・類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。(テスト)
	1	言葉を比べよう もっと「伝わる」表現を目ざして	・言葉を分類したり、類義語を集めて比べたりすることで、語感を豊かにする。	○	○	・今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。(観察、ノート)
読書生活を豊かに						
	1	読書を楽しむ	・本の紹介合戦をする。	○		・活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。(評価・振り返りシート)
	1	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	・翻訳の違いによる作品の印象の違いについて考える。		○	・進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。(ノート、発言)
4 人間のきずな						
8・9月	4	盆土産	・登場人物の言動に着目して、人柄や心情を捉える。	○	○ 読	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。(ノート、発言) ・登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。(テスト)
	3	字のない葉書	・文章の構成や表現から筆者の思いを考えながら、随筆を味わう。	○	○ 読	・前半部分と後半部分の人柄や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。(ノート、テスト) ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。(ノート、発言)
	1	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す	・的確なインタビューで、相手の思いや考えを引き出す。	○	○ 話聞	・話の要点や全体像を考えながら聞き、話を広げたり深めたりする質問をしている。(発言、評価シート)
	3	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	・相手や目的に応じた通信手段を選び、表現の効果を考えて手紙や電子メールを書く。	○	○ 書	・相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。(作文) ・自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。(作文)
	1	[推敲]表現の効果を考える	・表現の効果に着目して、手紙を推敲する。	○	○ 書	・読み手の立場に立って手紙を推敲し、気持ちがより伝わるような表現に書き改めている。(推敲した文章)

					○	・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。(ワークシート)	
	2	言葉2 敬語	・敬語の種類やそれぞれの働きを理解する。		○	・敬語を使う場面を想定し、敬語の働きについて理解を深めている。(テスト)	
	1	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	・漢字の意味を理解し、同じ訓・同じ音をもつ漢字を使い分ける。		○	・同音異義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。(テスト)	
	5 論理を捉えて						
	5	モアイは語る ——地球の未来	・意見と根拠に着目しながら、文章の構成や論理の展開を捉える。		○	・筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。(ノート、テスト)	
					○	・自分の知識や体験と重ね、筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめている。(作文)	
	1	思考のレッスン2 根拠の吟味	・意見の説得力を高めるための適切な根拠の選び方を理解する。		○	・問題1, 2に取り組み、根拠を吟味している。(ノート)	
	5	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	・自分の意見を伝えるために適切な根拠を選び、構成を工夫しながら意見文を書く。		○	・自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。(ノート)	
					○	・根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。(作文)	
					○	・粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。(下書き、振り返りシート)	
	1	漢字に親しもう4	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。		○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)	
	1	[討論]異なる立場から考える	・集められた事実を根拠に、賛成・反対の立場を想定して意見を考える。		○	・賛成・反対それぞれの立場の人が、根拠となる①～⑧の事実から、どんな意見を述べるのかを考えている。(ワークシート)	
	5	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。		○	・説得力のある根拠とともに、意見をまとめている。(ワークシート)	
					○	・互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。(発言、評価シート)	
	1	音読を楽しもう 月夜の浜辺	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。		○	・詩の語句に着目し、詩全体の世界を豊かに想像している。(ノート、テスト)	
					○	・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。(朗読、評価シート)	
	6 いにしえの心を訪ねる						
	1	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語	・「平家物語」の冒頭部分を音読し、言葉の響きを楽しむ。		○	・漢語を交えた独特の調子とリズムを捉えて朗読している。(朗読)	
					○	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。(ノート、朗読)	
	3	扇の的 ——「平家物語」から	・朗読して古典に親しみながら、登場人物の考え方を捉える。		○	・与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。(ノート、テスト)	
					○	・「扇の的」での与一の言動や「弓流し」の場面での義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。(ワークシート、テスト)	
	3	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて論じよう	・古典の表現に慣れ、登場人物の行動から、作者のものの見方や考え方を捉える。		○	・現代語訳や語注などを手掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方・考え方を理解している。(ノート、テスト)	
					○	・文章の構成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書いている。(作文)	
	3	漢詩の風景	・漢詩の表現や調子を味わい、情景や古人の心情を捉えよう。		○	・好きな漢詩を選び、気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を伝え合っている。(ワークシート、発言、テスト)	

10月

2学期

11月

					○ 進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。(ワークシート)	
	7 価値を語る					
1 2 月	4	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	・具体と抽象の関係に注意して、構成や表現の効果を捉える。	○	○ 読	・筆者が、どのような例示(具体)を基に、「最後の晩餐」を「かっこいい。」(抽象)と述べているのかを理解している。(テスト) ・文章の構成や表現の特徴について、二つの文章を比較して発見したことを発表している。(ノート、発言、テスト)
	2	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	・表現の効果を考えて、魅力が伝わるように鑑賞文を書く。	○	○ 書	・作品の魅力を伝える言葉にはどんなものがあるかを考え、より効果的な語句や表現を選んでいく。(ノート、鑑賞文) ・友達と鑑賞文を読み合い、意見交換をすることで、自分の鑑賞文のよさや改善点を見いだしている。(評価シート)
	1	漢字に親しもう5	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト) ○ 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。(観察、ノート)
	3	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	・用言の活用について理解する。	○	○	・用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。(テスト)
	読書に親しむ					
	1	研究の現場によろこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう	・研究の現場がテーマの文章を読み、自分の考えを広げる。		○	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。(ノート、発言)
	8 表現を見つめる					
1 月	7	走れメロス	・登場人物の人物像や表現の効果などに着目して、作品の魅力を考える。	○	○ 読 ○ 書	・作品中の漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えていく。(ノート、発言) ・「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えていく。(ワークシート) ・登場人物の人物像や表現のしかたなど、観点を明確にして作品の魅力を文章にまとめている。(作文) ○ 粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。(ノート、下書き原稿)
	1	漢字に親しもう6	・新出漢字を確認し、練習問題に取り組む。	○	○	・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりしている。(テスト)
	3	文法への扉3 一字違いで大違い	・付属語の種類とそれぞれの働きを理解する。	○	○	・助詞・助動詞の働きや種類について理解し、文や文章で使われている助詞や助動詞の意味・用法を判別している。(テスト)
	4	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く	・構成や展開を工夫し、物語文を書く。	○	○ 書	・これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えていく。(ワークシート) ・起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理していく。(ワークシート、物語文)
	1	言葉3 話し言葉と書き言葉	・話し言葉と書き言葉の特徴を考えながら、効果的に書いたり話したりする。	○	○	・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。(観察、ノート)
	2	漢字3 送り仮名	・送り仮名の原則と例外を知り、正確に送り仮名を付けられるようになる。	○	○	・送り仮名に注意して、漢字を読んだり、書いたりしている。(テスト)

2月	5	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	・構成や表現を工夫し、一年間の国語の学びで得たものをわかりやすく伝える。	○	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり、書いたりしようとしている。(観察、ノート) ・結論を見出しに、詳細を本文に書くなど、構成を工夫して記事を書いている。(記事) ・壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。(発言、ワークシート) ・伝えたいことの優先順位を考えて、記事の大きさや割り付けを工夫している。(記事) ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。(下書き原稿)
	2	木	・抽象的な概念を表す言葉に着目して詩を読み味わい、作者のものの見方を捉える。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛」、「正義」などの抽象的な概念を表す言葉に着目し、詩の中での意味を考えている。(ノート) ・自分の知識や経験と結びつけて、作者のものの見方について考えている。(感想文)
3月	3	学習を振り返ろう 問題に取り組み、身につけた力を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生に贈る言葉を考える。 ・長編版「アイスプラネット」の冒頭を読み、教科書の文章と比較する。 ・山内さんのメールの下書きを読み、推敲する。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の心が動くように、卒業生に送る言葉を選び、その理由を考えている。(ノート) ・教科書の「アイスプラネット」と長編版「アイスプラネット」とを比較して読み、登場人物の違いによって、どんな展開の可能性が加わるのかを考えている。(発言、ワークシート) ・進んで読み手の立場に立ち、表現の効果を考えて電子メールを推敲しようとしている。(下書き原稿)